

JGJA Seminar

日本のゴルフ場を魅力あるものにする

JGJA会員 松尾 俊介

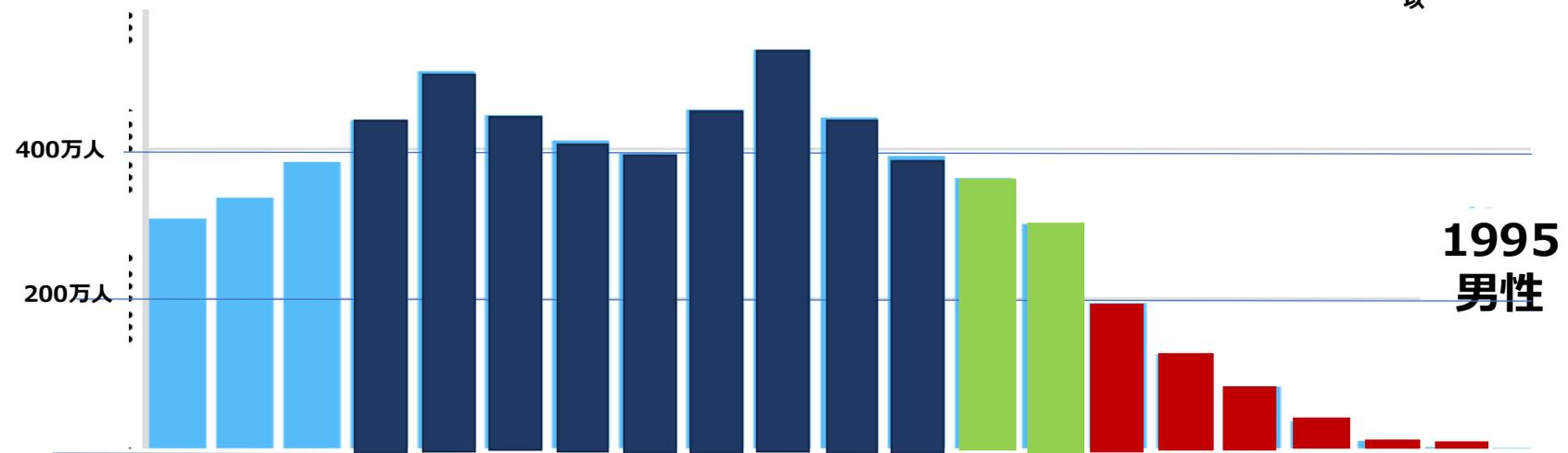
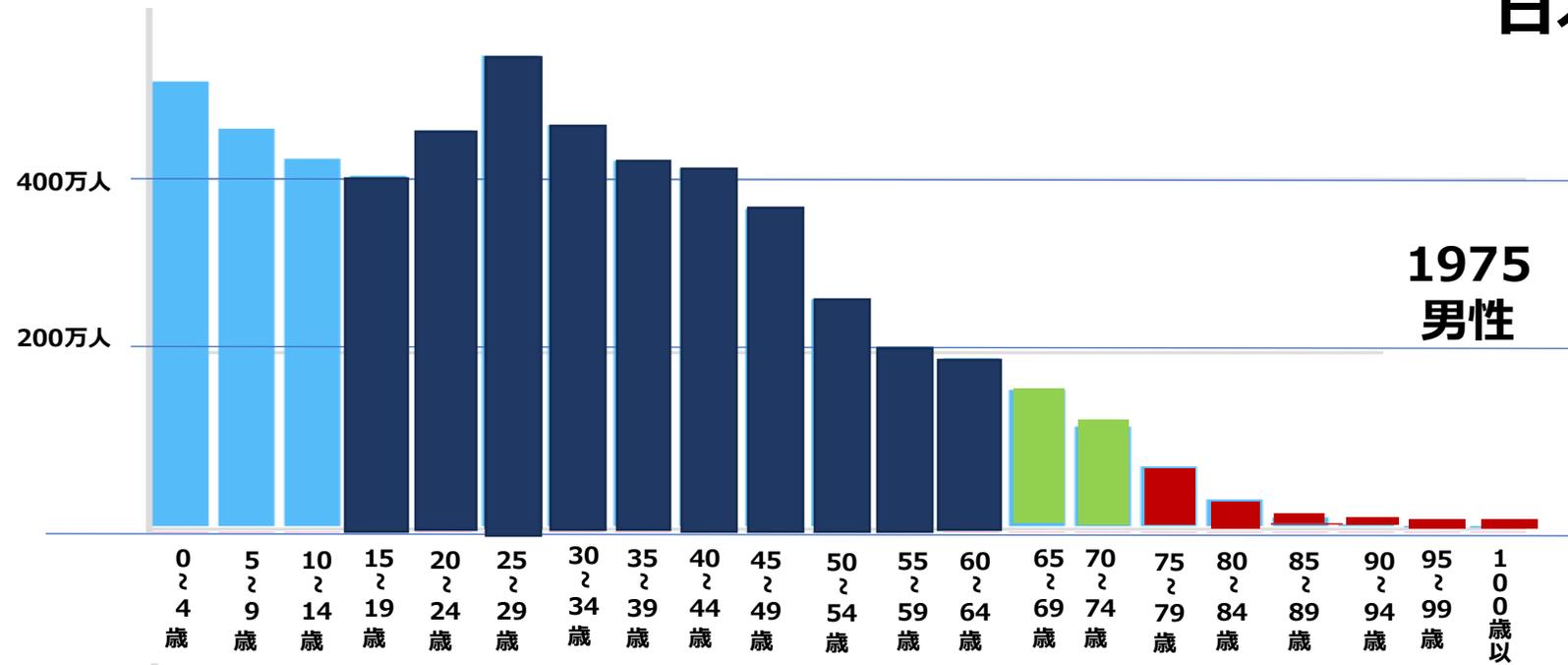
日本のゴルフ場の数

2004年：2,356コース

2024年：2,123コース

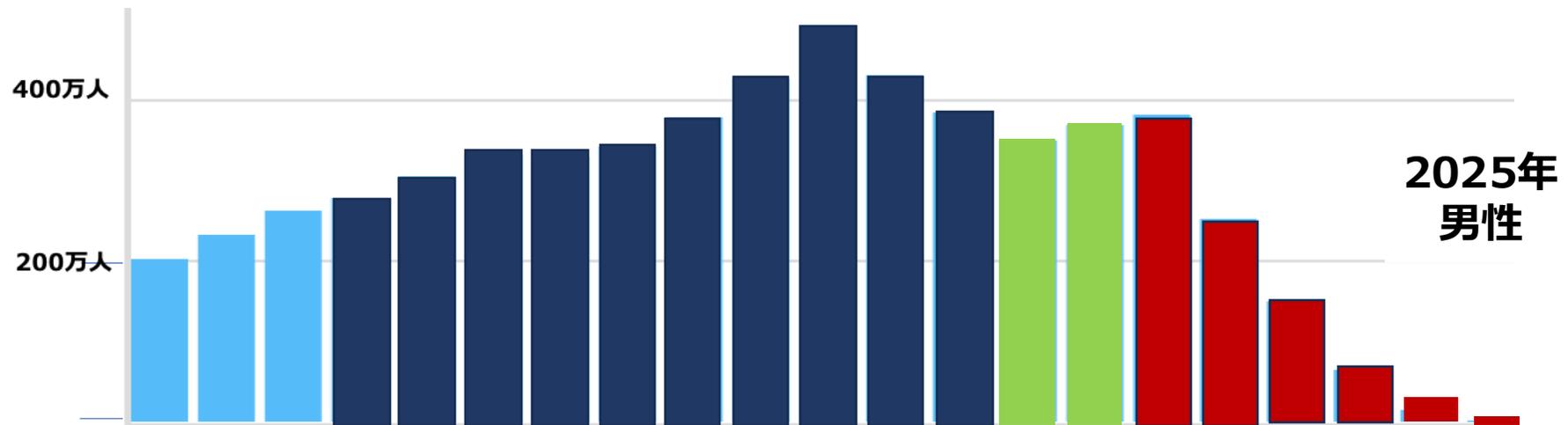
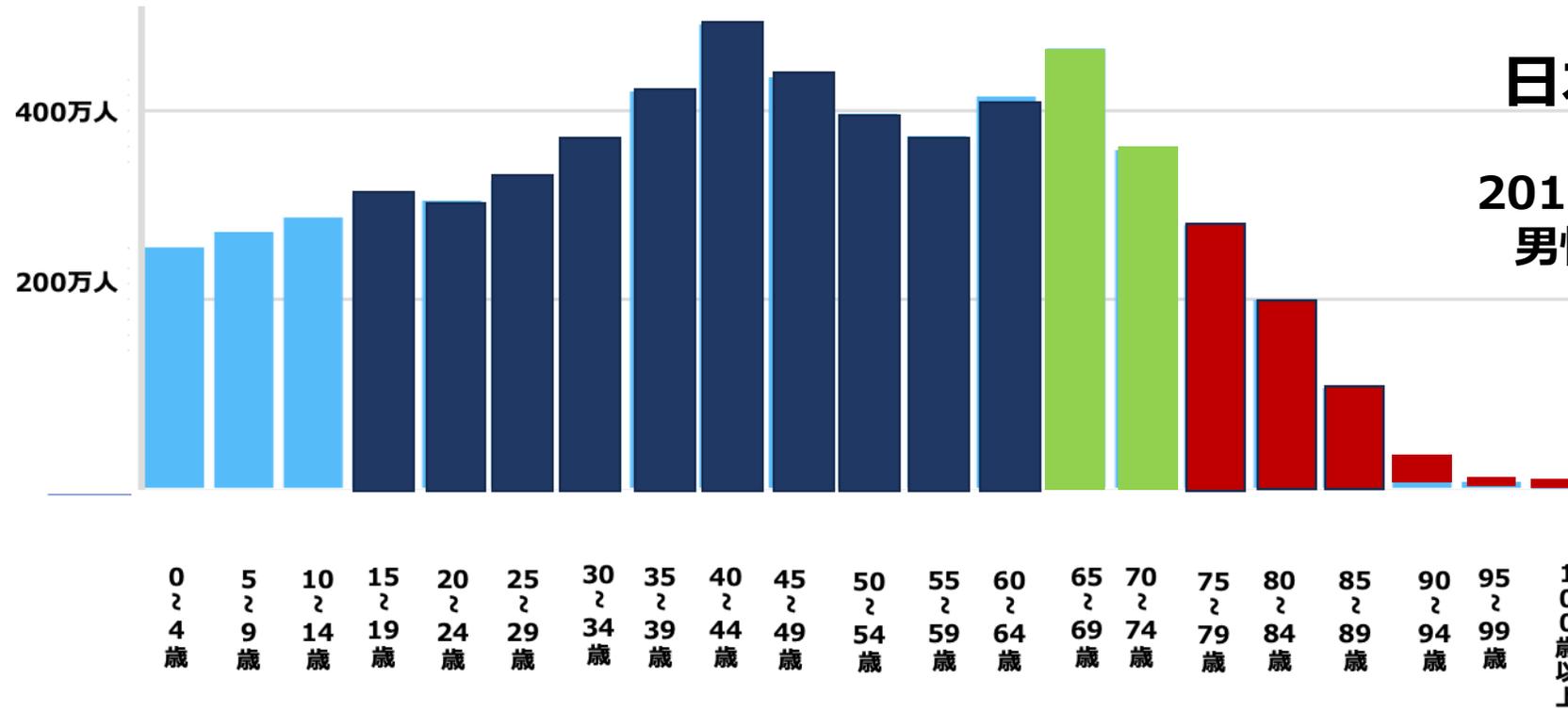
233コースの減少

日本の人口推移

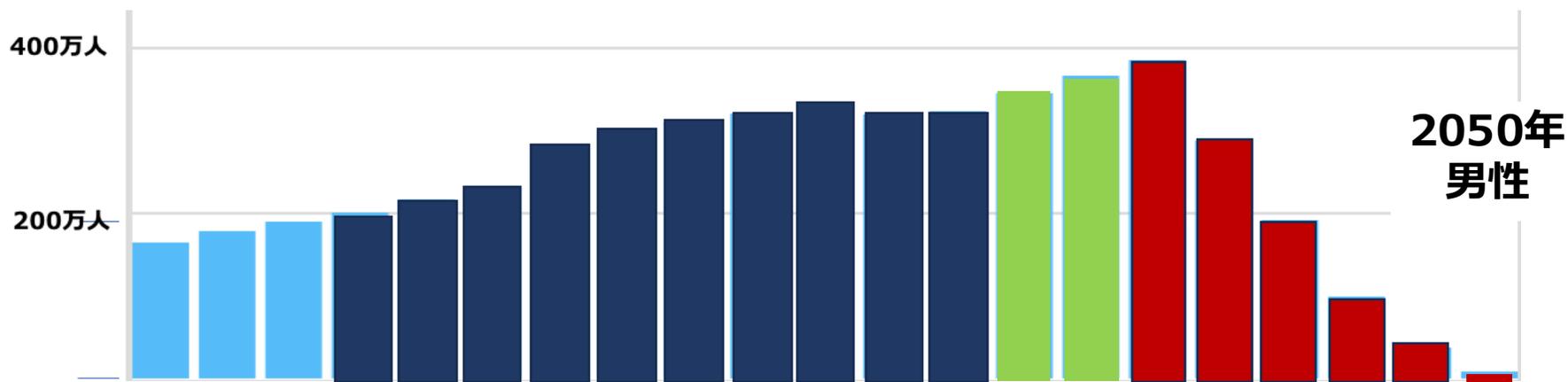
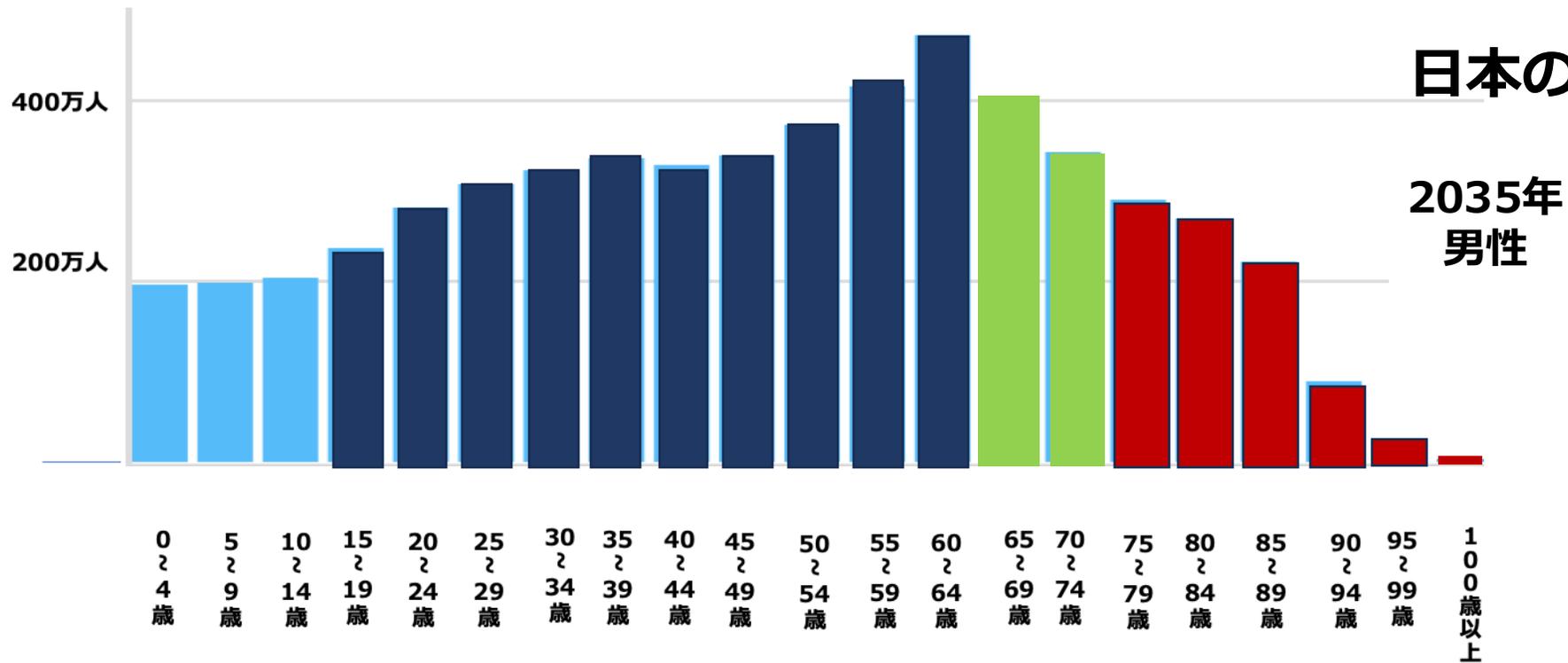


日本の人口推移

2015年
男性



日本の人口推移



日本と米国のゴルフ人口とゴルフコースの推移比較

日本

ゴルフ人口 2004年 1030万人 → 2024年 585万人 445万人減 57%減

ゴルフ場数 2004年 2356コース → 2024年 2123コース 223コース減 0.9%減

米国

ゴルフ人口 2004年 2600万人 → 2024年 4720万人 2120万人増 82%増

ゴルフ場数 2004年 16000コース → 2024年 15963コース 37コース減 微減

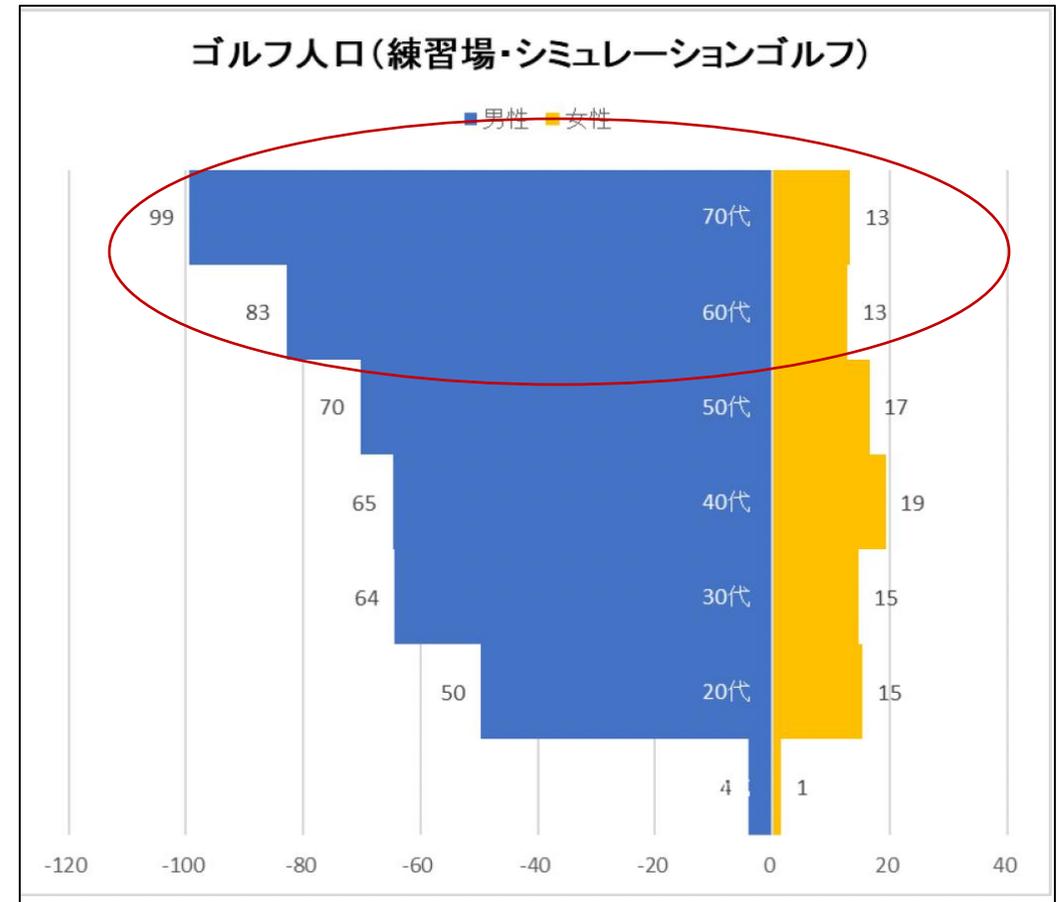
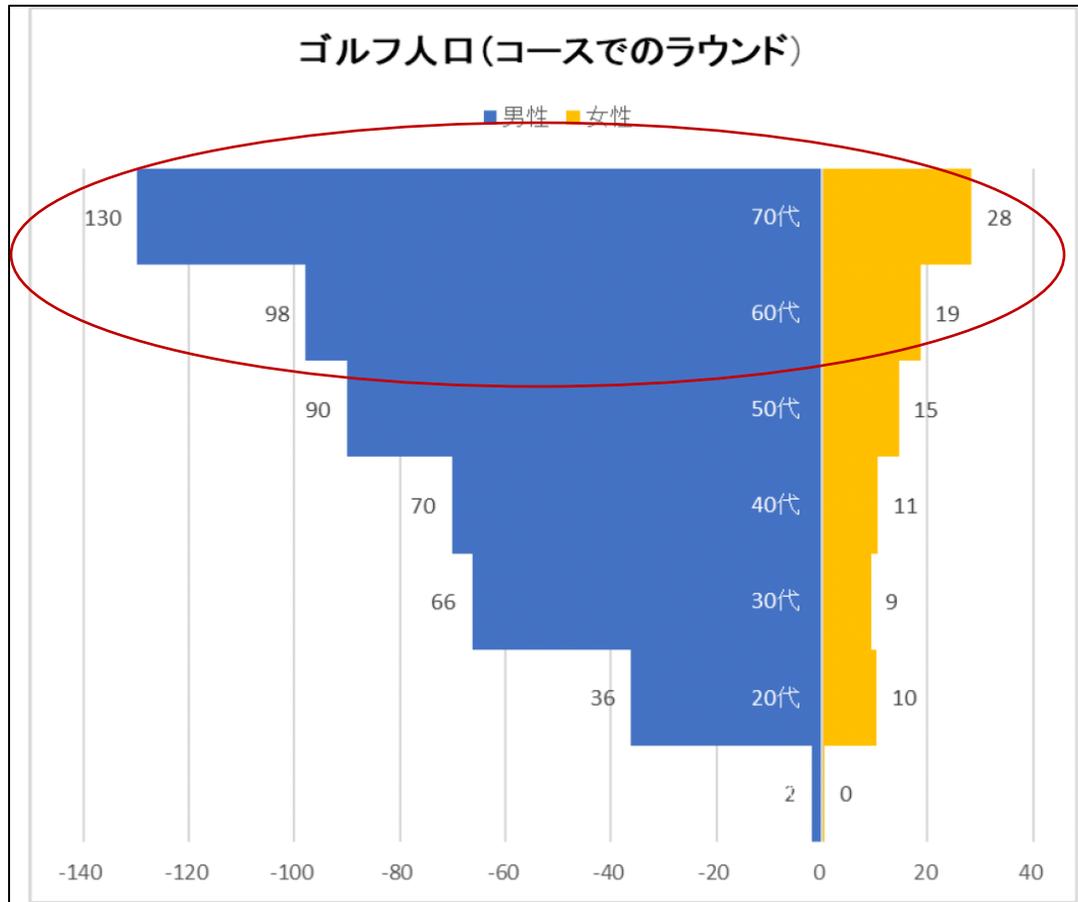
日本のパブリックコース 約85コース 2100コースがメンバーシップ
米国のパブリックコース 約12500コース **コース全体の75%がパブリックコース**

危機的な日本のゴルフ

早急な改革を行わないと日本のゴルフ産業は急速に収縮する

スポーツ庁 スポーツ実施状況等に関する市場調査の数字

最新の2021年度調査によると、ゴルフコース参加率は6.2%（前年6.6%）で、推計されるゴルフ人口は585万人（同634万人）、男性は491万人（546万人）、女性は93万人（87万人）。朗報は女性が増えていること。年齢階層別の推計される人口は以下の図を参照。図中数字の単位は万人。人口の算出は、2021年11月時点の総務省統計局人口推計値（5歳刻み）を元に算出し、10代（18～19歳）人口は2021年国勢調査の該当年齢の人口比で配分



日本のゴルフ人口 585万人

(男性：493万人、女性：92万人)

男性：84% 女性：16%

| | | | | |
|------|-------|-----------|----------|-----|
| 70歳代 | 158万人 | (男性：130万人 | 女性：28万人) | 27% |
| 60歳代 | 117万人 | (男性：98万人 | 女性：19万人) | 20% |
| 50歳代 | 105万人 | (男性：90万人 | 女性：15万人) | 18% |
| 40歳代 | 81万人 | (男性：70万人 | 女性：11万人) | 14% |
| 30歳代 | 75万人 | (男性：66万人 | 女性：9万人) | 13% |
| 20歳代 | 46万人 | (男性：36万人 | 女性：10万人) | 8% |
| 10歳代 | 1万人 | | | |

日本のゴルフ界が抱える
大問題

1

日本のゴルフ人口の構成はゴルフ場の利用および練習場の利用を見ても**70歳代が最も多く続いて60歳代、50歳代と逆段階的に若年層まで続いている。**

これは異常な形で衰退する産業の典型的なパターン。

日本のゴルフ人口の減少状況は
日本の人口の減少カーブより大きい
毎年急激に減少する負のスパイラルに突入。

2

ゴルフ場の数の減少傾向が顕著

2004年：2,356コース

2024年：2,123コース

233コースの減少

今年から始まるゴルフ人口の急激な減少に伴って
閉鎖するゴルフ場の数も急速に増える。

ゴルフ場のサバイバル競争が激化

3

日本のゴルフ場は**90%以上がメンバーシップ制**で
パブリックゴルフ場が極端に少ない

プレイスタイルの画一化、
プレイスタイルの選択肢がない。

4

ゴルフを始めて3年以内に半数のゴルファーが
ゴルフを辞めてしまう。楽しめないという理由で。

3年経って18Hのプレイスコアが115を切らないと
ゴルフに対する興味が薄れる

スコアだけでなく「**楽しめない理由**」の検証と
それに対する**対策が必要**

Active Golfer : 6%

平均スコア : 98.7 年間プレイ回数 30R以上

Stable and Continuing Golfer : 27%

平均スコア : 101.7 年間プレイ回数 10~29R

**Lite Golfer:
61%**

平均スコア : 111.4 年間プレイ回数 4~9R

Sleeping Golfer :6%

平均スコア : 122.8 1年以上プレイ経験なし

1年目

ゴルフを始める

年齢：25.9歳
平均スコア：139.6

きっかけ

- ①会社の人に勧められて
- ②友人に誘われて

2年目

ライトゴルファー1

もっとゴルフがしたい、ゴルフが楽しいと感じる

ゴルフ歴：2.7年
平均スコア：115
年間プレイ回数：4~9R

3年目

ライトゴルファー2 50%

上達の実感が出る

平均スコア：111.4
年間プレイ回数：4~9R
*誘い、誘われる機会の増加
*楽しくなってきた
*ゴルフの興味・関心が出てきた

ライトゴルファー3 50%

上達の実感が出ない

平均スコア：115以下
年間プレイ回数：4~9R
*誘い、誘われる機会の減少
*楽しさを感じない
*ゴルフの興味・関心が消えた

4年目

安定・継続型ゴルファー1

平均スコア：101.7
年間プレイ回数：20R以上

- *ゴルフが趣味のNo.1
- *技術の向上に励みたい

安定・継続型ゴルファー2

平均スコア：110
年間プレイ回数：20R以下

- *ゴルフは趣味のひとつ

5年目

アクティブゴルファー

平均スコア：98.7

年間プレイ回数：30R以上

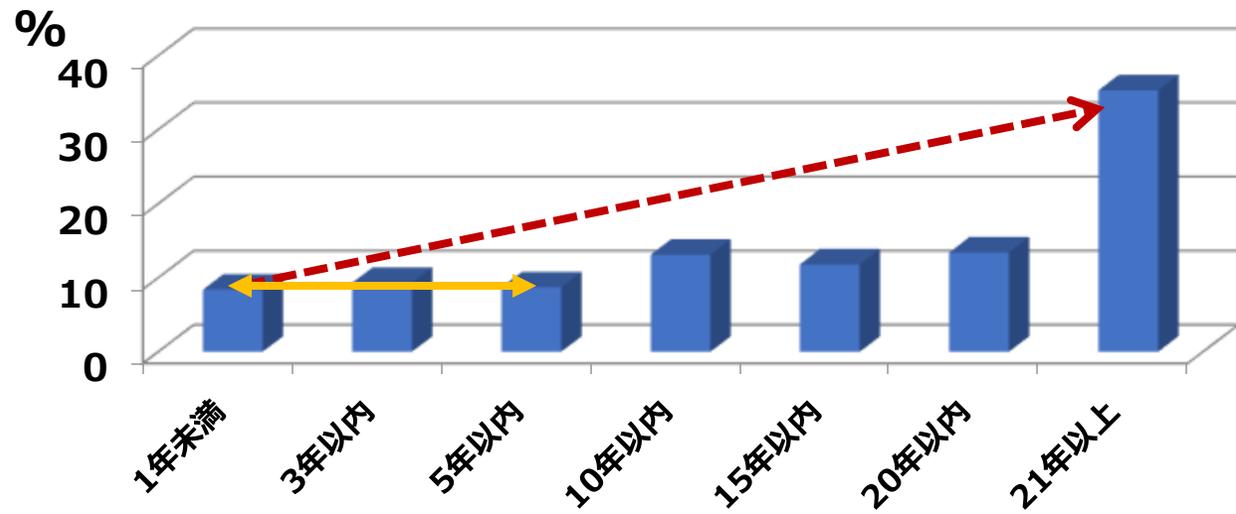
休眠ゴルファー

1年以上プレイ経験なし
平均スコア：122.8

ゴルファーのスキルアップ曲線



経験年数によるゴルフ人口分布



5

ゴルファーの男女比率は男性が圧倒的に多く、
男性のスポーツと見ることができる
なぜかを検証し対策を実施する必要がある

ゴルフ人口は585万人
男性は491万人
女性は93万人

2021年スポーツ庁調査

**ゴルフ産業はゴルフ場が核となる産業である
そのことの再認識が
ゴルフ業界全体として必要です。**

**ゴルフはゴルフ場でプレイするものです。
全てのゴルフ関連商品、サービス、施設、
メディアもゴルフ場がなければ
ビジネスを展開することが出来ない
という認識は必要です。**

**ゴルフ
練習場**

ゴルフ人口が減少することは
ゴルファーがゴルフ場に行かなくなる

**ゴルフ
用品
メーカー**

**ゴルフ場
プレイ人口**

**ゴルフ
アパレル
メーカー**

ゴルフ人口が減少することで
あらゆるゴルフ関連産業が
収縮する

**プロ
ゴルファー**

ゴルフ場が生き残り活性化することはゴルフ産業にとって最大の重要課題

ゴルフ場が抱える課題

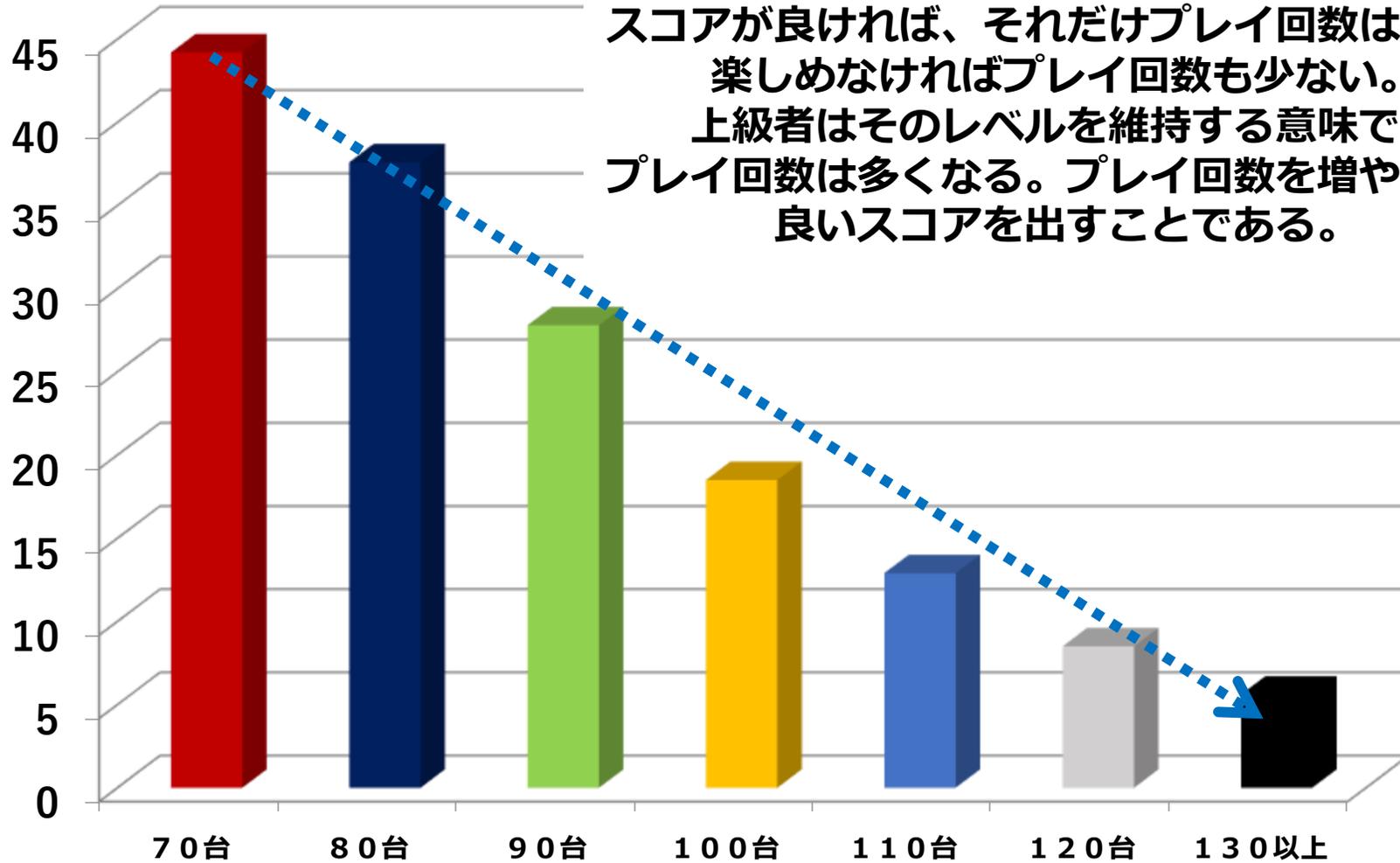
- 1、優秀な社員が確保できない
- 2、慢性的人手不足、労働条件が悪い（長時間勤務、平均より低い賃金）
- 3、固定資産税や消費税の負担が大きい
- 4、集客のための送客代行会社への送客手数料の負担増
- 5、施設や設備の老朽化
- 6、天候による集客の不安定（キャンセルに対する処置）
- 7、一部有力メンバーによるワガママ（私物化的行動）
- 8、メンバーシップ制のために経営の自由度が小さい（保守的）

ゴルフ場は収容人員が決まっている器産業

- * 収容人数が決まっているなら、絶えず収容人数を定員まで募集する必要に迫られています。
- * 物価が上昇する中で収益を伸ばしていくには、プレイ費の値上げが必要ですが、プレイ費を上げると集客の減少が見込まれ、競合他社との顧客の取り合いとなり料金が上げられない状況です。

平均スコアと平均プレイ回数

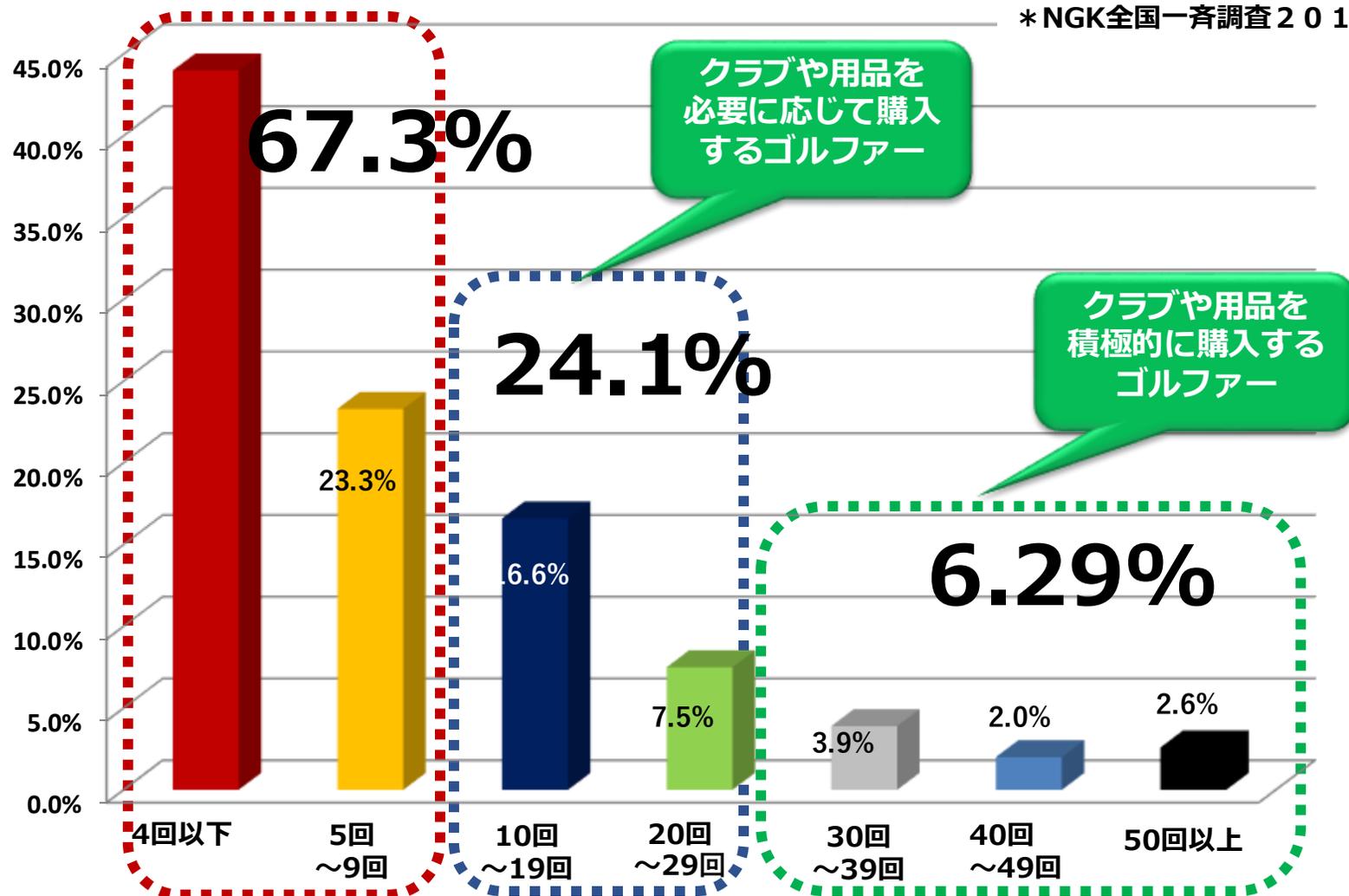
プレイ回数とスコアはきれいに連動している。
スコアが良ければ、それだけプレイ回数は多く。
楽しめなければプレイ回数も少ない。
上級者はそのレベルを維持する意味でも
プレイ回数は多くなる。プレイ回数を増やすには
良いスコアを出すことである。



| 平均スコア | 70台 | 80台 | 90台 | 100台 | 110台 | 120台 | 130以上 |
|---------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 平均プレイ回数 | 44.2 | 37.6 | 27.8 | 18.5 | 12.9 | 8.5 | 5.6 |

プレイ回数別人口推計

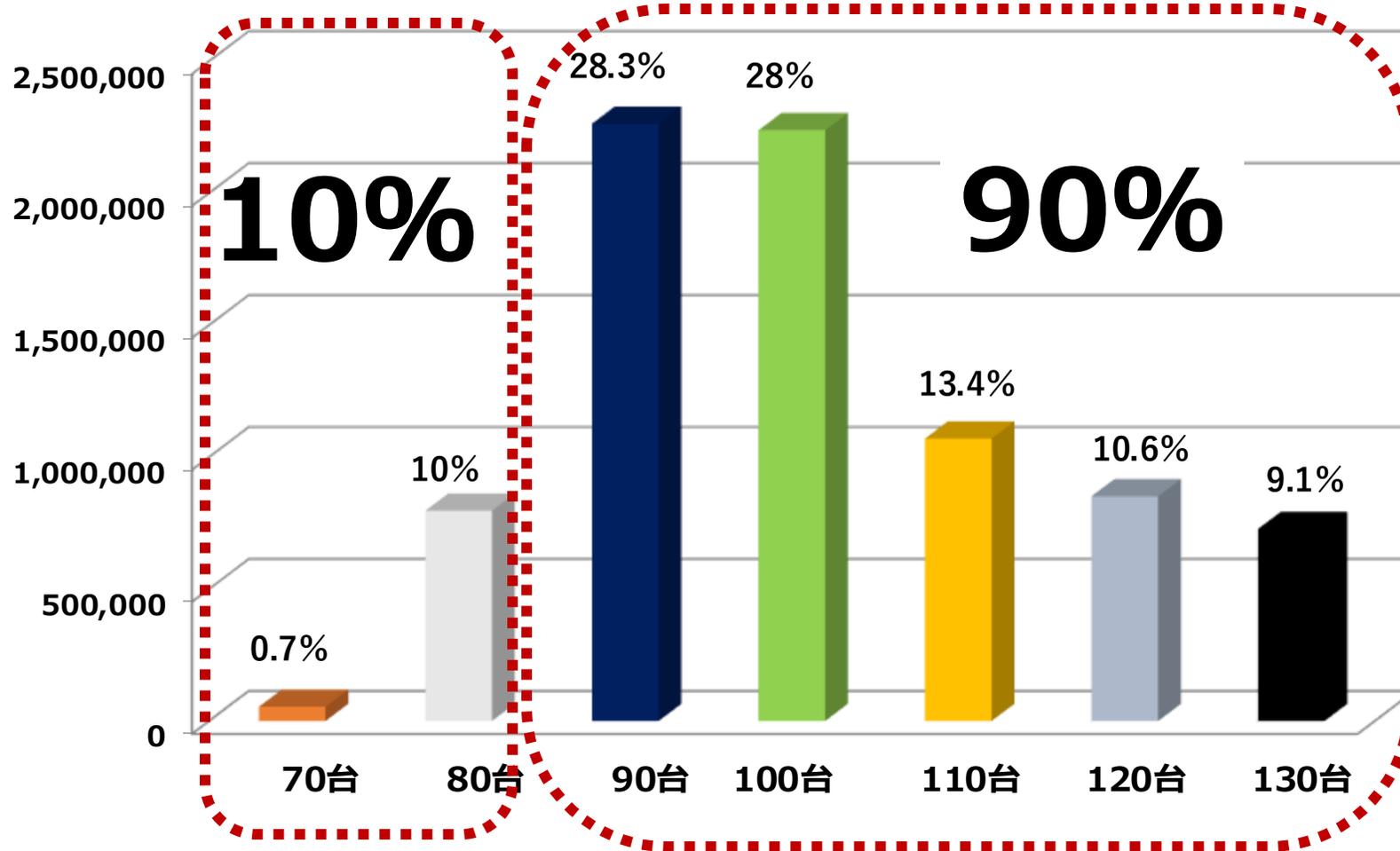
*NGK全国一斉調査2012



| | 4回以下 | 5～9回 | 10～19回 | 20～29回 | 30～39回 | 40～49回 | 50回以上 | Total |
|------------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 人数 | 2190 | 4063 | 5995 | 4574 | 3387 | 2162 | 3501 | 24206 |
| プレイ回数別人口推計 | 44.0% | 23.3% | 16.6% | 7.5% | 3.9% | 2.0% | 2.6% | 100.0% |
| | 3,522,929 | 1,867,405 | 1,330,182 | 600,648 | 315,845 | 156,674 | 206,674 | 8,000,000 |

平均スコア別ゴルフ人口推計

NGK全国一斉調査2012より



| 70台 | 80台 | 90台 | 100台 | 110台 | 120台 | 130以上 |
|--------|---------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|
| 53,733 | 796,662 | 2,262,815 | 2,238,400 | 1,069,776 | 851,327 | 727,324 |

改善：

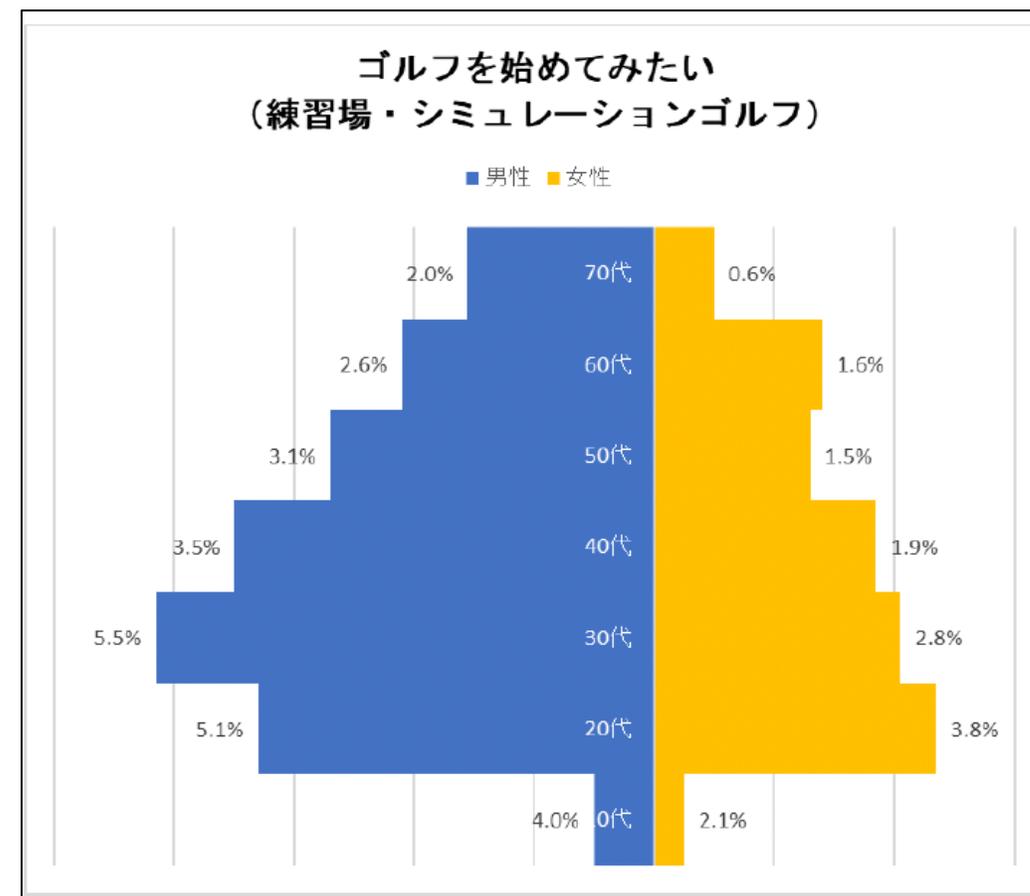
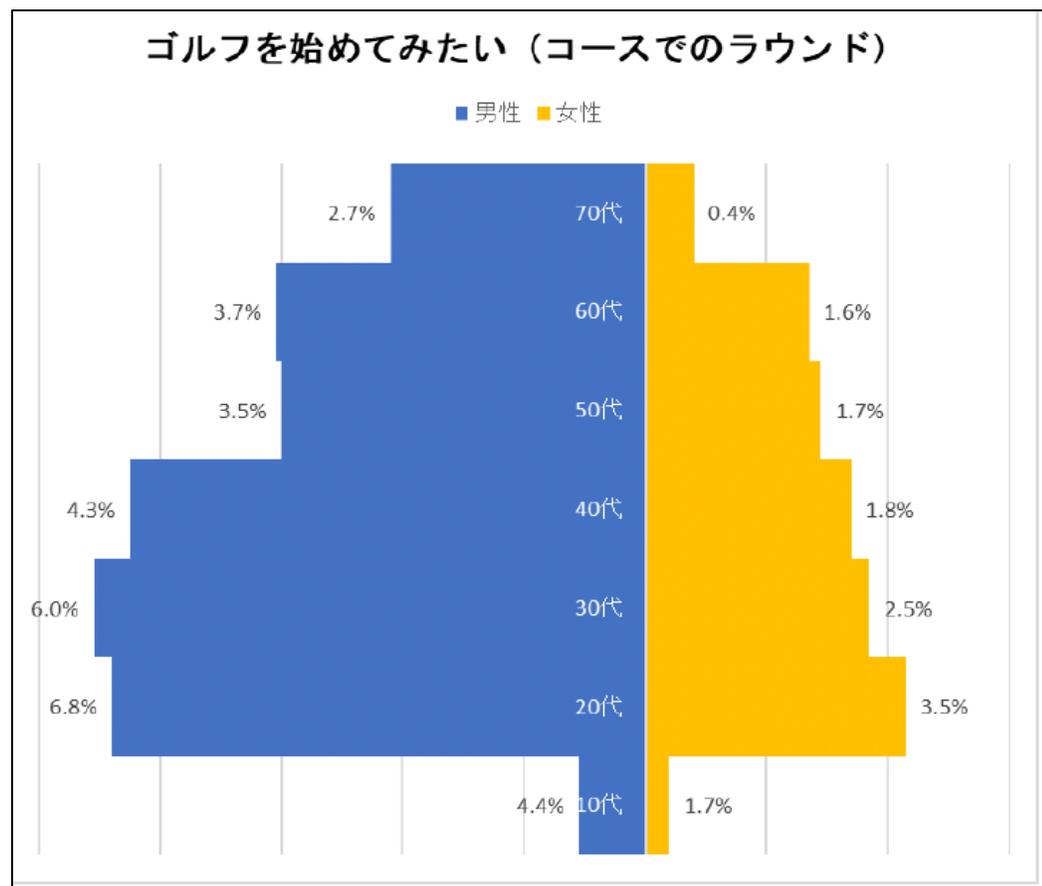
現在のやり方に改良を加えて成長する方法
業績が右肩上がりの時に行う取り組み

改革：

現在のやり方をやめて新たなやり方で成長する方法
業績が右肩下がりの時に行う取り組み

今後ゴルフを始めたいと答えている人 (%)

長い期間プレイできるゴルフにとっては理想的な人口分布



グラフは各年齢層人口に対する将来参加希望率で、2021年にゴルフをしていない人を対象に集計した
 ※スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査 令和3年」より作成

ゴルフ場の改革（案）

1、メンバーシップ制からパブリックへの転換(会員権を株券へ)

2、ゴルフのプレー以外でゴルフ場が運営ができる体制

3、家族がゴルフ場を利用する仕組み

①会員は家族単位 パブリックの場合は友の会の家族タイプの創設

②周辺の農業、林業、漁業とゴルフ場の関係構築

③子供の遊び場としての活用

4、クラブハウスの有効利用

コースとクラブハウスの分離

5、ゴルフ場を利用したスポーツイベント、音楽イベントなどの開催

野外総合フィールドとしての存在

6、ゴルフプレイの選択肢の拡充

①スループレイシステム、②スクランブル競技の充実、③ティーングエリアの自由選択

④キャディ、カートの自由選択、⑤9H、6Hプレイの採択など

人口が、そして一般ゴルファーが
減少するなら

1、新しいゴルファーを増やす

2、ゴルフ場を利用する人を増やす

ゴルフ場という施設を利用して何ができるか？
ゴルフ場ビジネスの**発想の大転換**が必要

1、新しいゴルファーを増やす

女性ゴルファーを増やす

* 社会的構造の転換が必須

20～30代ゴルファーを増やす

家族でプレイできる環境を構築する

* ゴルフ場の敷居を低くする
パブリックゴルフコースが必須
メンバーシップからパブリックへ

2、ゴルフ場を利用する人を増やす

ゴルフ場をゴルフをする場所からゴルフもできる場所への意識転換が必要な時期に来ています。

ゴルフ場という広大な場所で何ができるか、どのようなことをすれば課題が解決できるようなことがあるかを考えて実行することです。

**新たなゴルフ場を起点としたビジネス展開ができれば
ゴルフ場が抱える課題の多くは解決の方向に進み始めます。**

ゴルフトライアスロン、ゴルフアスロンはその一つの試作として実行に移しました。



一般社団法人ゴルフトライアスロン協会

GOLF & RUNNING

GOLF+ BIKE+ RUNNING

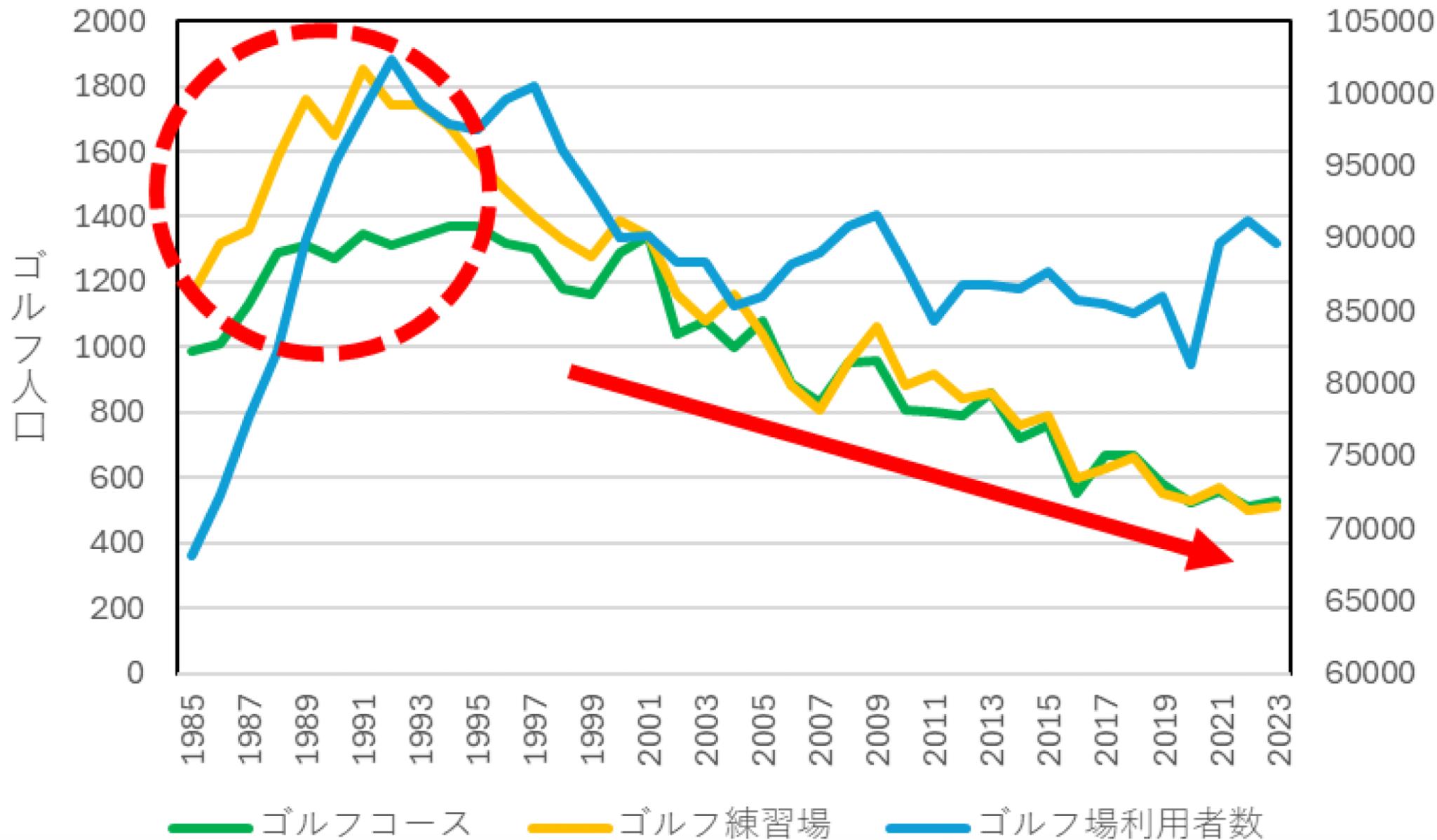
ゴルフ関係者は現実を見つめ直して
改革のための議論を始めませんか！

何をやるのか？

どうやってやるのか？

參考資料

ゴルフ人口の推移 2024レジジャー白書

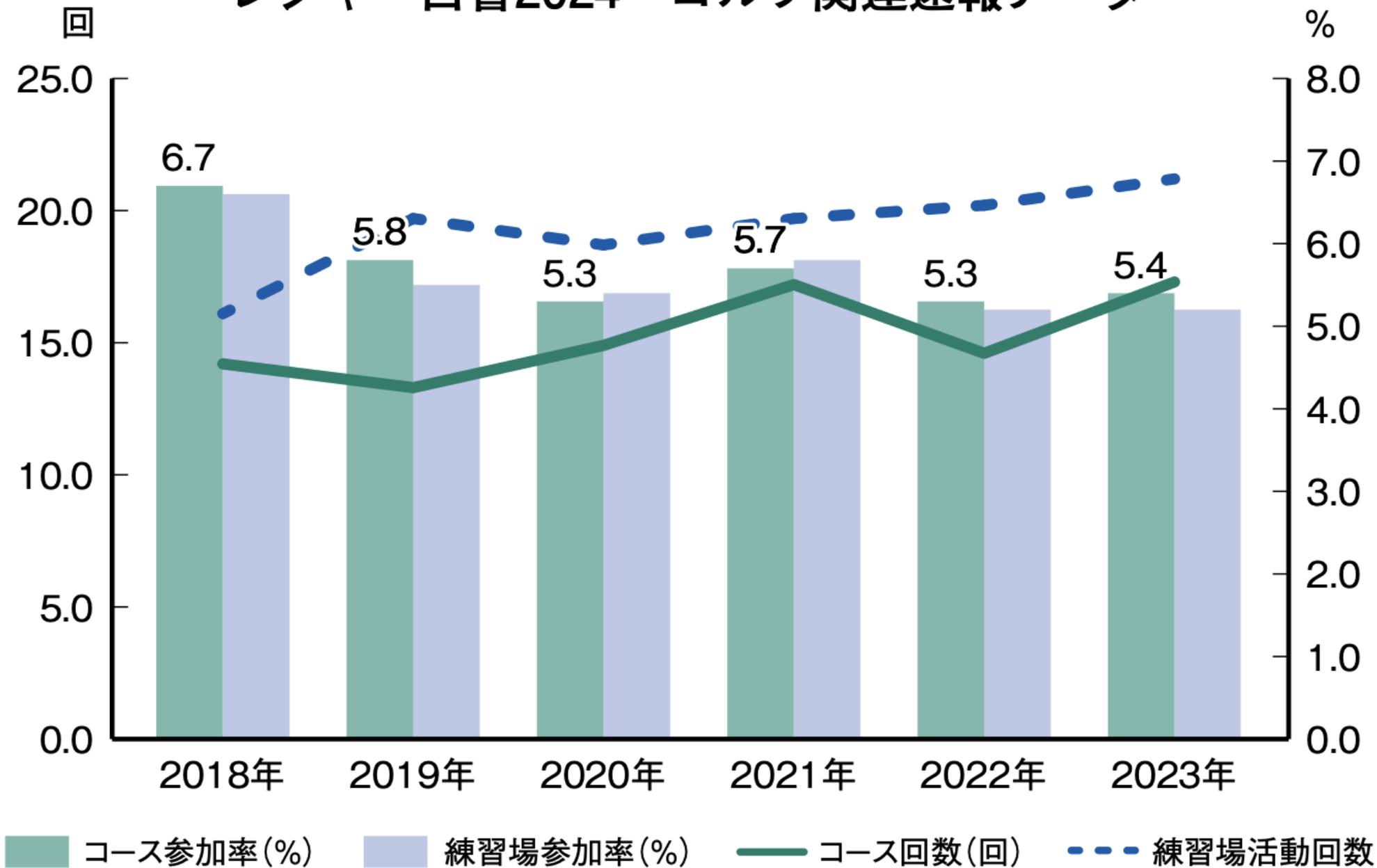


「レジャー白書2024」速報データ

| 調査対象年 | | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 増減 | 率 |
|-------------|-------------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
| レジャー白書タイトル年 | | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | | |
| コース | 市場規模（億円） | 8,820 | 7,180 | 8,340 | 9,050 | | | |
| | 参加人口（万人） | 580 | 520 | 560 | 510 | | | |
| | （対前年） | -13.4% | -10.3% | 7.7% | -8.9% | | | |
| | コース参加率（%） | 5.8 | 5.3 | 5.7 | 5.3 | 5.4 | 0.1 | 1.9% |
| | コース参加希望率（%） | 7.3 | 8.0 | 7.3 | 7.3 | 6.7 | ▲ 0.6 | -8.2% |
| | プレー回数（回） | 13.3 | 14.9 | 17.2 | 14.6 | 17.3 | 2.7 | 18.5% |
| | 年費用（千円） | 143.6 | 151.5 | 135.8 | 183.2 | 164.6 | ▲ 18.6 | -10.2% |
| | 1回当たり費用（円） | 10,797 | 10,168 | 7,895 | 12,548 | 9,514 | | |
| 練習場 | 市場規模（億円） | 1,250 | 1,300 | 1,430 | 1,240 | | | |
| | 人口（万人） | 550 | 530 | 570 | 500 | | | |
| | 参加率（%） | 5.5 | 5.4 | 5.8 | 5.2 | 5.2 | 0.0 | 0.0% |
| | 練習場参加希望率（%） | 6.4 | 7.4 | 6.7 | 7.0 | 6.0 | ▲ 1.0 | -14.3% |
| | 年間活動回数（回） | 19.7 | 18.7 | 19.7 | 20.2 | 21.2 | 1.0 | 5.0% |
| | 年費用（千円） | 22.7 | 29.0 | 27.6 | 27.8 | 26.3 | ▲ 1.5 | -5.4% |
| | 1回当たり費用（円） | 1,152 | 1,551 | 1,401 | 1,376 | 1,241 | | |

公益財団法人・日本生産性本部 余暇創研 「レジャー白書2024」（速報版）より。1回当たり費用は本紙で算出

レジジャー白書2024 ゴルフ関連速報データ



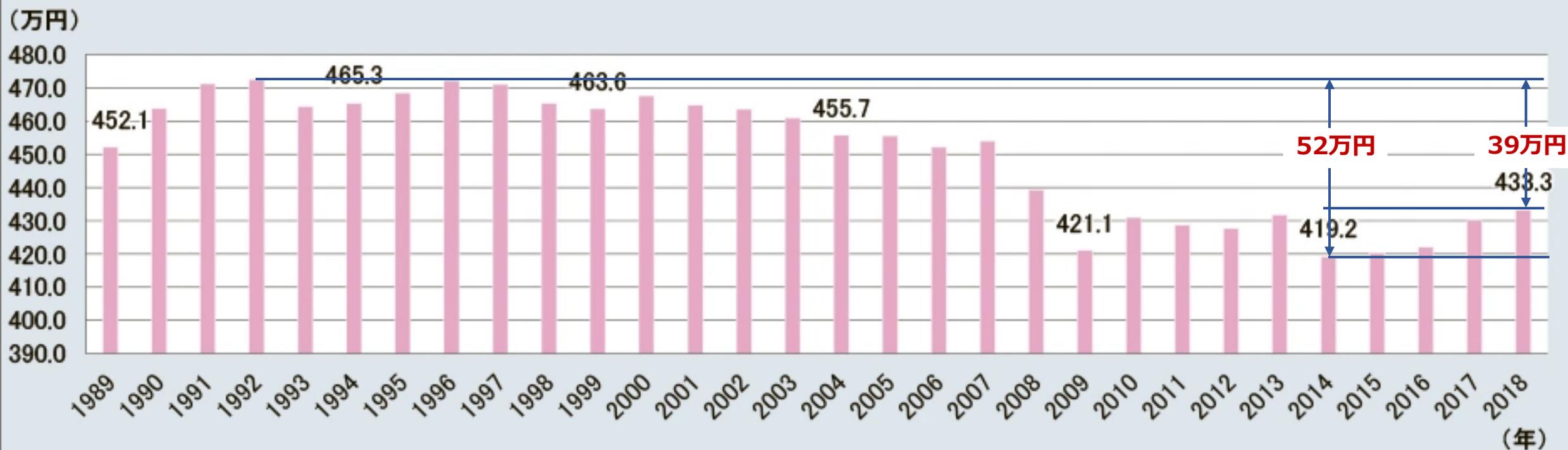
「レジャー白書2024」速報 主な種目別

| 種目 スポーツ部門 | 参加率 | | | | 年間平均活動回数 | | | | 年間平均費用（千円） | | | | 希望率 | | |
|-----------------|------|------|------|------|----------|------|------|--------|------------|-------|-------|--------|------|------|------|
| | 19年 | 22年 | 23年 | 増減 | 19年 | 22年 | 23年 | 増減 | 19年 | 22年 | 23年 | 増減 | 22年 | 23年 | 増減 |
| ジョギング・マラソン | 20.6 | 18.5 | 17.8 | ▲0.7 | 36.1 | 38.5 | 41.0 | 6.5% | 13.2 | 12.2 | 13.3 | 9.0% | 21.2 | 20.0 | ▲1.2 |
| 体操 | 21.6 | 21.4 | 19.8 | ▲1.6 | 54.7 | 57.3 | 57.9 | 1.0% | 8.3 | 6.1 | 6.3 | 3.3% | 18.8 | 18.2 | ▲0.6 |
| トレーニング | 17.1 | 16.2 | 15.7 | ▲0.5 | 52.1 | 58.6 | 59.4 | 1.4% | 31.5 | 26.6 | 23.5 | -11.7% | 18.8 | 17.7 | ▲1.1 |
| エアロビクス、ジャズダンス | 3.8 | 2.6 | 3.1 | 0.5 | 38.2 | 44.3 | 47.1 | 6.3% | 45.0 | 42.5 | 66.7 | 56.9% | 4.8 | 5.2 | 0.4 |
| 卓球 | 6.8 | 5.1 | 5.5 | 0.4 | 12.5 | 14.4 | 16.4 | 13.9% | 9.8 | 15.0 | 9.7 | -35.3% | 5.6 | 5.9 | 0.3 |
| バドミントン | 6.4 | 5.4 | 5.3 | ▲0.1 | 12.5 | 11.8 | 16.1 | 36.4% | 4.2 | 9.4 | 7.5 | -20.2% | 5.8 | 6.5 | 0.7 |
| サイクリング、サイクルスポーツ | 7.7 | 5.5 | 6.0 | 0.5 | 29.9 | 32.8 | 37.0 | 12.8% | 21.5 | 20.6 | 24.6 | 19.4% | 7.2 | 7.2 | 0.0 |
| ボウリング | 9.3 | 5.0 | 5.8 | 0.8 | 6.4 | 7.0 | 9.1 | 30.0% | 13.8 | 15.5 | 16.7 | 7.7% | 6.3 | 6.7 | 0.4 |
| 水泳 | 9.2 | 4.8 | 5.5 | 0.7 | 21.7 | 29.1 | 30.0 | 3.1% | 25.7 | 30.8 | 31.8 | 3.2% | 10.0 | 9.5 | ▲0.5 |
| ゴルフ（コース） | 5.8 | 5.3 | 5.4 | 0.1 | 13.3 | 14.6 | 17.3 | 18.5% | 143.6 | 183.2 | 164.6 | -10.2% | 7.3 | 6.7 | ▲0.6 |
| ゴルフ（練習場） | 5.5 | 5.2 | 5.2 | 0.0 | 19.7 | 20.2 | 21.2 | 5.0% | 22.7 | 27.8 | 26.3 | -5.4% | 7.0 | 6.0 | ▲1.0 |
| テニス | 4.8 | 3.8 | 3.4 | ▲0.4 | 23.8 | 36.9 | 35.5 | -3.8% | 36.2 | 59.7 | 46.6 | -21.9% | 6.6 | 5.8 | ▲0.8 |
| 乗馬 | 0.5 | 0.6 | 0.7 | 0.1 | — | 12.5 | 24.4 | 95.2% | — | 113.6 | 132.8 | 16.9% | 4.1 | 3.8 | ▲0.3 |
| スキー | 3.5 | 3.2 | 2.9 | ▲0.3 | 3.9 | 4.5 | 10.5 | 133.3% | 44.6 | 51.2 | 91.9 | 79.5% | 6.5 | 6.0 | ▲0.5 |
| 釣り | 6.7 | 5.4 | 5.2 | ▲0.2 | 9.8 | 11.9 | 10.2 | -14.3% | 37.6 | 55.0 | 44.6 | -18.9% | 9.0 | 8.5 | ▲0.5 |
| サーフィン、ウインドサーフィン | 0.6 | 0.4 | 0.5 | 0.1 | — | 20.9 | 18.4 | -12.0% | — | 123.7 | 44.6 | -63.9% | 1.7 | 1.5 | ▲0.2 |

| 種目 | 参加率 | | | | 年間平均活動回数 | | | | 年間平均費用（千円） | | | | 希望率 | | |
|---------------------------|------|------|------|------|----------|------|------|--------|------------|-------|-------|--------|------|------|------|
| | 19年 | 22年 | 23年 | 増減 | 19年 | 22年 | 23年 | 増減 | 19年 | 22年 | 23年 | 増減 | 22年 | 23年 | 増減 |
| 趣味・創作部門 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 動画鑑賞（レンタル、配信含む） | 35.3 | 38.4 | 37.0 | ▲1.4 | 45.2 | 54.5 | 58.4 | 7.2% | 7.6 | 10.6 | 11.0 | 3.8% | 26.3 | 26.1 | ▲0.2 |
| 園芸、庭いじり | 25.1 | 23.6 | 21.7 | ▲1.9 | 40.2 | 38.9 | 38.8 | -0.3% | 14.8 | 14.7 | 14.4 | -2.0% | 23.7 | 21.3 | ▲2.4 |
| 映画（テレビは除く） | 37.6 | 30.7 | 32.1 | 1.4 | 8.6 | 10.8 | 11.4 | 5.6% | 7.8 | 7.3 | 7.6 | 4.1% | 32.5 | 31.6 | ▲0.9 |
| 音楽鑑賞（配信、CD、レコード、テープ、FMなど） | 35.6 | 34.2 | 34.5 | 0.3 | 62.6 | 65.2 | 65.4 | 0.3% | 10.0 | 12.3 | 12.8 | 4.1% | 29.3 | 30.1 | 0.8 |
| おどり（日舞など） | 0.5 | 0.3 | 0.6 | 0.3 | — | 30.3 | 23.3 | -23.1% | — | 145.3 | 61.8 | -57.5% | 0.8 | 0.8 | 0.0 |
| 学習・調べもの | 16.1 | 16.2 | 16.2 | 0.0 | 57.3 | 59.1 | 59.0 | -0.2% | 23.5 | 23.8 | 25.2 | 5.9% | 15.3 | 14.7 | ▲0.6 |
| 娯楽部門 | | | | | | | | | | | | | | | |
| カラオケ | 29.9 | 17.2 | 20.2 | 3.0 | 7.2 | 7.1 | 8.1 | 14.1% | 12.6 | 11.9 | 15.3 | 28.6% | 21.7 | 21.2 | ▲0.5 |
| 麻雀 | 5.1 | 5.2 | 4.8 | ▲0.4 | 11.6 | 23.2 | 18.7 | -19.4% | 7.3 | 11.0 | 8.8 | -20.0% | 8.6 | 7.3 | ▲1.3 |
| パチンコ | 8.9 | 8.1 | 6.8 | ▲1.3 | 31.7 | 31.9 | 31.2 | -2.2% | 103.4 | 88.4 | 109.0 | 23.3% | 5.7 | 5.2 | ▲0.5 |
| 宝くじ | 26.5 | 19.4 | 18.9 | ▲0.5 | 12.3 | 13.8 | 13.2 | -4.3% | 21.8 | 22.2 | 23.6 | 6.3% | 18.2 | 18.8 | 0.6 |
| 中央競馬 | 8.3 | 8.2 | 7.7 | ▲0.5 | 24.8 | 31.6 | 27.7 | -12.3% | 54.1 | 85.4 | 75.3 | -11.8% | 9.6 | 8.2 | ▲1.4 |
| 外食（日常的なものは除く） | 43.7 | 35.8 | 39.2 | 3.4 | 17.2 | 16.0 | 18.0 | 12.5% | 57.0 | 55.4 | 60.7 | 9.6% | 36.0 | 36.4 | 0.4 |
| バー、スナック、パブ、飲み屋 | 18.0 | 10.3 | 11.0 | 0.7 | 11.5 | 10.8 | 11.3 | 4.6% | 54.7 | 55.2 | 54.1 | -2.0% | 11.0 | 9.6 | ▲1.4 |
| サウナ | 9.3 | 8.6 | 8.4 | ▲0.2 | 15.2 | 14.7 | 14.7 | 0.0% | 9.9 | 12.3 | 13.3 | 8.1% | 12.9 | 11.1 | ▲1.8 |

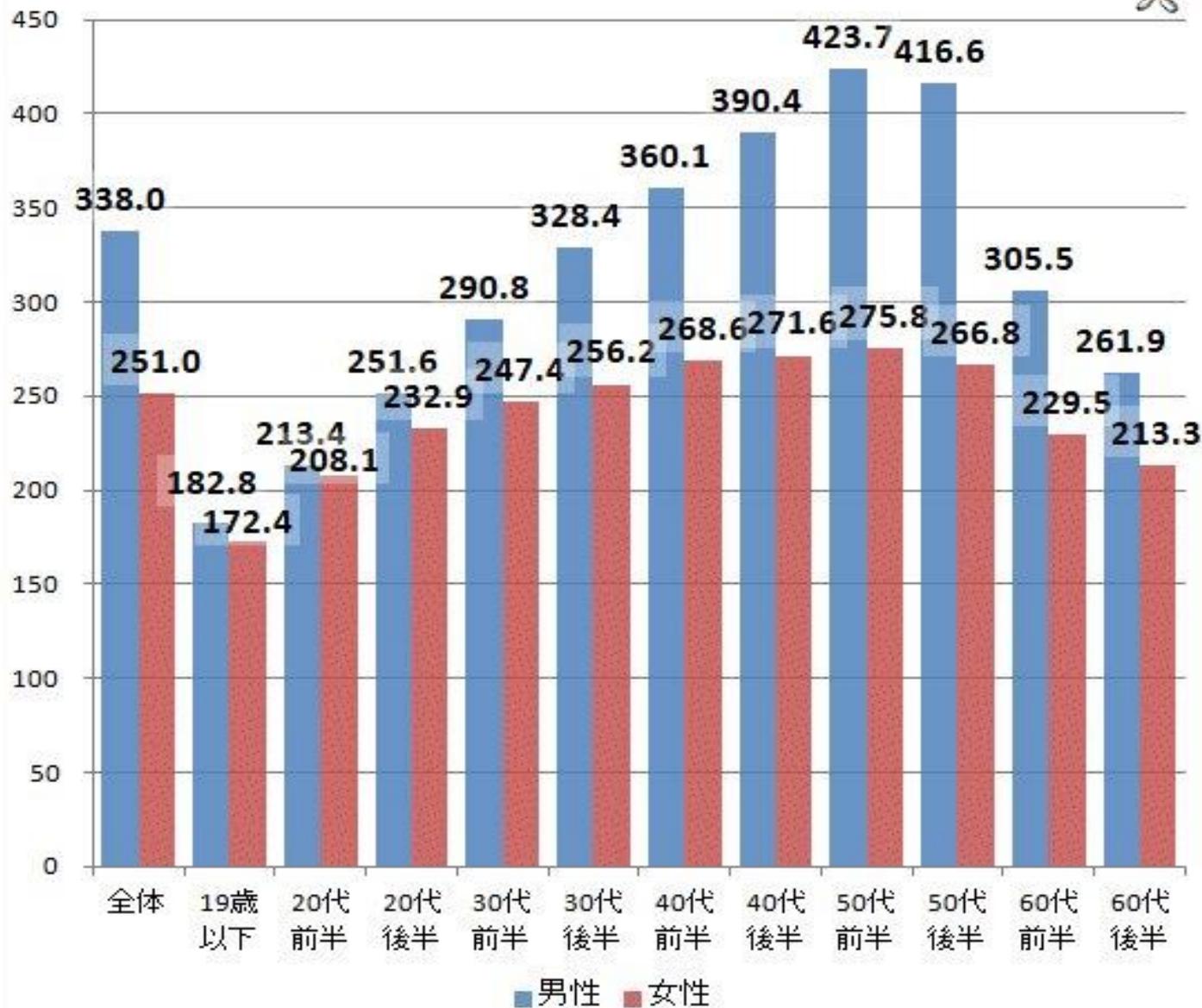
図表 1-8-2

平均給与（実質）の推移（1年を通じて勤務した給与所得者）



資料：厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において、国税庁「民間給与実態統計調査」のうち、1年勤続者の平均給与を2015年基準の消費者物価指数（持ち家の帰属家賃を除く総合）で補正した。

年齢階層別平均賃金(男女別、千円)(2019年)



男女別平均賃金差 87万円

- 20歳代前半 : ¥53,000
- 20歳代後半 : ¥187,000
- 30歳代前半 : ¥434,000
- 30歳代後半 : ¥722,000
- 40歳代前半 : ¥915,000
- 40歳代後半 : ¥1,188,000
- 50歳代前半 : ¥1,479,000
- 50歳代後半 : ¥1,498,000
- 60歳代前半 : ¥760,000
- 60歳代後半 : ¥486,000